

第3学年1・3組 国語科学習指導案

指導者

1. 日時・場所 令和5年9月13日(水) 5校時
2. 単元名 「えっそうなの!? 5年生に食べ物のひみつを伝えよう!!」
教材名「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつ教えます」
3. 単元構想 掲載せず

〈テーマに迫るための手立てや工夫・日常的な取り組み〉

中学年の目指す子ども像『自分の考えをもち、意見を交流したり表現したりすることを楽しめる子』

- (1) 自分の思いを言葉で表現するために
 - ・俳句や詩、手紙などを定期的に取り組み、書く量を増やしながら、自分の思いを表現する場を設けている。
 - ・友だちの良いところを見つけて紹介し合う場面を作っている。
- (2) 語彙を豊かにするために
 - ・学習の中で、気になった言葉、意味の分からない言葉を辞書でひいている。
 - ・教科書に出てきた言葉を使い例文づくりに取り組んでいる。
- (3) 伝え合い活動を楽しむために
 - ・全体で話し合いを行う前に、小グループや近くの席の児童同士で話し合いを行う。
 - ・田島タイムでテーマを決めて班で交流活動している。発表した後に、質問や感想を伝え合うことで、話し合いの活動を充実させている。

〈主たる言語活動〉

- ・筆者の説明の工夫を見つけ、食材について説明する文章を書き、5年生に伝える。

4. 単元目標

- ・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。
〔知識及び技能〕((2)情報の扱い方に関する事項 ウ)
- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
〔思考力・判断力・表現力等〕(B 書くこと(1) ウ)
- ・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。
〔思考力・判断力・表現力等〕(C 読むこと(1) ア)
- ・言葉のもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
〔学びに向かう力、人間性等〕

5. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。	①「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ②「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。	・粘り強く、書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、説明する文章を書こうとしている。

6. 学習指導計画【14時間扱い】

次	時	【 】評価規準 ☆評価方法	○主な学習活動	・指導上の留意点
第1次	1	活動の見通しをもち、学習計画を立てよう。		
	2	【知識・理解】 ☆発言・観察 比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。	○「食べ物のひみつを教えてください」を読み、5年生に向け、3年生から学んだことを発表する計画を立てる。 ○「伝わりやすい文の書き方を知ろう。」というすがたをかえる大豆のめあてをつかみ、学習の見通しをもつ。 ○発表したい食材を選ぶ。	・すがたをかえる大豆について知っていることを出し合う活動を通して、読み手に伝わりやすい文の書き方を知るきっかけをもてるようにする。
	3		○選んだ食材について必要な情報を調べる。 ○下書きを作成する。	・読み物を中心に調べ学習を行う。 ・決められない児童のために食材の候補を用意する。 ・表に整理できるようにワークシートを用いる。 ・ワークシートを使用する。

第 2 次	4		文章全体の組み立てについて考えよう。	
	5		○段落分けを確かめながら文章全体の組み立てを捉える。 ○「おいしく食べる工夫にはどんな工夫があるか。」 「大豆がすがたをかえている食べ物は何か。」という問いを立てる。	・それぞれの段落に出てくる食品をまとめ、「はじめ」「中」「終わり」に分ける。 ・説明文にある問いに気づき、筆者が伝えたいことを読み取るために、各段落の1文目に線を引かせ、食品名を丸で囲ませる。
	6		○「はじめ」の段落を書き直す。	・書き出しのヒントとなるヒントカードを用意する。 ・「初め」「中」「終わり」の組み立てを考えさせる。
	7	【思考・判断・表現】 ☆発言・ノート	○大豆をおいしく食べる工夫と具体例を整理する。 ○調べ学習で用いたワークシートを振り返り、食べる工夫と具体例を整理し直す。	・大豆を加工するときに使われる言葉に注意しながら、各段落でどんな工夫が書いてあるかを捉えられるように動画を見せながら説明する。
	★ 本 時 ①	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。	○「中」を読んで、読み手に伝わりやすくするために筆者が工夫している書き方を考える。	・前時で学習した「中」の事例を振り返り、相手に伝わりやすくするためにどんな書き方のわざがあるか考えさせる。
	8・9		○「中」を書き直す。	・組み立てのヒントとなるヒントカードを用意する。 ・「中」で挙げる例の順番などを考えることができるようにする。 ・「すがたをかえる大豆」で学習した構成や接続語などを参考に書くようにする。
10	【思考・判断・表現】 ☆発言・ノート	○「終わり」を読み、多くの食べ方が考えられた理由をまとめる。 ○伝わりやすい文の書き方について振り返る。	・事例や叙述を基に、なぜ大豆には多くの食べ方があるのかを考えさせる。 ・伝わりやすい文の書き方について振り返り、次時の活動に活かせるようにする。	
★ 本 時 ②	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。			
11	【思考・判断・表現】 ☆ワークシート	○「終わり」を書き直す。	・ヒントカードを用意する。	
	11	自分の考えとそれを支		

	1 2	える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	○清書を書く。	
第3次	1 3	【主体的に学習に取り組む態度】 ☆ワークシート	○5年生へ発表するために、リハーサルを行い、アドバイスを出し合う。	
	1 4	粘り強く、書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって、説明する文章を書こうとしている。	○5年生に発表する。	
	1 5		○単元を振り返る。	

7. 本時の学習（7/14）

(1) 目標 「中」のそれぞれの段落の内容を読み、例の書き方やその順序などの説明のしかたの工夫を見つけることができる。

〔評価規準〕 ☆評価方法	○主な学習活動・予想される児童の反応	・指導上の留意点
	○前時までの活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・かくれた問いを確認する。 ・前時に整理した「中」に書かれてある事例を確認する。
<p>筆者は、れいの書き方をどのように工夫しているか考えよう。</p>		
<p>【思考・判断・表現】 ☆交流の様子、発言、ノート段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「中」を読み、筆者の工夫だと感じた文章に線を引く。 ○どこに線を引いたのか、理由を加えながら伝え合う。 ○全体で共有し、筆者の書き方の工夫を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・事例の順番は、単純なものから複雑なものへと並んでいる。 ・各段落の1文目に前の段落とつながる言葉を使っている。 ・写真を使っている。 ・中心となる文は段落の最初に書いてある。 ○前時までに書いていた文章と比べる。 ○本時のまとめと次時の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた筆者の工夫の中から、自分が文章にどう生かしたいかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループで話し合いを行った後、クラス全体で考えを共有する。 ・事例の順番が見やすくなるように食品の写真を黒板に貼る。 ・中心となる文を短冊にして貼ることで、注目すべき文章や言葉を見つけやすくする。 ・今日学習したことを振り返り、次時以降の、自分で食べ物のひみつ○○!を書く活動に生かすことをおさえる。

参観の視点

話し合う活動が、書き方の工夫を見つけることに繋がったか。

7. 本時の学習（10/15）

（1）目標 本文を振り返り、伝わりやすい説明のしかたの工夫について理解する。

〔評価規準〕 ☆評価方法	○主な学習活動・予想される児童の 反応	・指導上の留意点
せつめいのくふうについて考えよう		
<p>【思考・判断・表現】 ☆発言・ノート 「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。</p>	<p>○前時までの活動を確認する。</p> <p>○「終わり」を音読する。</p> <p>○文章全体の構成について考える。 ・「このように」「～のは～からです」という言葉があるから、内容のまとめになっているのかな。 ・「中」では具体的な例を挙げて説明しているようだね。 ・「中」も、工夫についてのいくつかのまとまりがあるみたいだね。 ・「終わり」で文章全体がまとめられているように思うよ。 ・大豆の姿が変わるごとに段落が分かれているね。 ・段落の最初の言葉は、文と文をつなぐような言葉が使われているね。 ・段落の最初の文は、工夫の内容が書かれているのが多いね。</p> <p>○気づいたことをグループで出し合う。</p> <p>○グループで出た考えをクラス全体で共有し、伝わりやすい説明のしかたの工夫について理解する。</p> <p>○本時学習を振り返り、伝わりやすい文章の書き方について振り返る。</p>	<p>・これまでの学習プリントを振り返らせる。</p> <p>・文章全体の中での「はじめ」「中」「終わり」のそれぞれの役割はないか声をかけて思考を促す。 ・「つなぎ言葉」「おいしく食べる工夫」「大豆の形」「作り方」など、着目するポイントについて声かけする。</p> <p>・メンバー全員が考えを共有しやすいように、グループに1枚ずつ大きめの記入用紙を配り記入させる。</p> <p>・今日学習したことを振り返り、次時以降の、自分で食べ物のひみつ〇〇！を書く活動に生かすことをおさえる。</p>

参観の視点

グループで話し合う活動は、伝わりやすい説明のしかたの工夫について理解することに繋がっていたか。